

事業コード	H24-建-継-11		区 分	国庫補助 県単独
事業名	広域河川改修事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	二級河川 豊川		担当課長名	齋藤 春美
箇所名	潟上市船橋		担当者名	市川 利和
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H26 (7年)		総事業費	9.0億円	国庫補助率	1/2
事業規模	計画延長 L=800m 計画高水流量 Q=55m ³ /s(1/10)					
事業の立案に至る背景	<p>豊川は潟上市(旧昭和町)を東西に流れ、八郎湖に流入する2級河川である。当河川は昭和35年より八郎潟干拓流入河川改修事業、小規模河川改修事業、統合河川の改修事業により、平成13年度末までに本計画始点下流まで整備が完了している。</p> <p>しかしながら、平成10,14,18年の豪雨では多くの浸水被害を受けていた。特に平成18年7月の豪雨では、浸水被害12戸(床上1戸、床下11戸)の被害が発生し、地元から早期改修の声がより一層強くなり、本事業に着手したものである。</p>					
事業目的	河幅が狭小で疎通能力が著しく不足していることから、早期の浸水被害の解消を目指し、計画区域内に住む住民の生命・財産を守る。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		900,000	900,000	0	
	経費内訳	工事費	440,000	440,000	0	
		用補費	240,000	240,000	0	
		その他	220,000	220,000	0	
	財源内訳	国庫補助	450,000	450,000	0	
		県債	405,000	405,000	0	
その他		0	0	0		
一般財源		45,000	45,000	0		
事業内容		築堤、掘削、護岸工、橋梁工等	築堤、掘削、護岸工、橋梁工等			
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 9.00億 H23年度末投資額 2.49億 進捗率 27.7% 					
事業推進上の課題	補償物件が多いことから、移転交渉等には時間を要している。					
関連する計画等	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと秋田元気創造プラン」で5つの戦略を支える横断的な取組の(4)社会資本整備の推進の中で水害・土砂災害への対応力強化が位置付けられている。 農地整備事業(経営体育成型)H25~H27 					
情勢の変化及び長期継続の理由	用地買収については、地元説明会等で事前合意の上、事業を進めているが地権者用地の農地(代替地)の確保に時間を要していることから、地権者との綿密な連携を取りながら進めていくことが重要である。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川整備率 = 河川改修 / 要改修延長				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	45.1 %		データ等の出典	県河川砂防課	
	実績値 b	45.4 %				
達成率 b/a	100.7 %		把握の時期	平成24年3月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<p>当該河川は河幅が狭小で且つ、河道の蛇行が著しく、毎年のように頻繁に洪水が発生している。また、家屋浸水・農地冠水の他、県道の冠水被害もあり、通行不能となる区間でもある。</p> <p>このような状況であることから、地区住民には多大な被害を与えており、潟上市・当該地区はもとより、上流部住民からも早期の河川改修の要望があることから、早急な浸水被害対策が必要である。</p>	20点
緊 急 性	<p>当該整備地区には、小学校・保育園等の災害弱者施設が存在し且つ、県道においても行き止まりの道路であることから、浸水時には孤立集落となるため、緊急性が非常に高い地区となっている。</p>	13点
有 効 性	<p>河川改修による治水安全度の向上により、水害から地域の人命・財産を守り、災害弱者施設の保全、安全の確保につながるるとともに県道の冠水区間の解消により、当該地区及び上流地区住民の孤立集落の危険性が無くなり、安全で安心して暮らせる生活環境が整備されることから、有効性は高い。</p>	15点
効 率 性	<p>(費用対効果) 費用便益比は3.02であり事業の効率性は高い。</p> <p>(コスト縮減の取組状況) 残土の他事業での有効利用や既設護岸(コンクリート殻)の再利用などを図り、事業の促進に努めている。</p>	15点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年に潟上市長より河川改修の要望書が提出されている。また、それを受けて地元説明会を実施し、地域住民の理解を得ている。 市の広報に事業の概要等が掲載され、市民へに事業の認知と期待が持たれている。 	18点
判 定	<p>ランク ()</p> <p>地元からの要望が高く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、継続して事業を実施し、早期完成が望まれる。</p>	81点
総 合 評 価	<p>継続 改善して継続 見直し 中止</p> <p>事業継続は妥当である。</p>	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード(H24-建-継-11)
箇所名 (潟上市船橋)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上 49～10戸 10戸未満	10 7 3	7		
	浸水面積	60ha以上 59～10ha 10ha未満	10 7 3			
	重要な公共施設	3施設以上 2～1施設 無し	5 3 0	5		
	整備計画の策定					
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み 協議中であるが特段問題ない 策定に着手していないが予定がある 予定無し	5 3 1 0	5		
	計		30			20
	緊急性	災害発生危険度				
		改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満 40～59% 60%以上	10 7 5	10	
		秋田県水防計画				
重要水防地域		評定基準区分A 評定基準区分B	5 3	3		
計			15			13
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する 災害防止効果は現状と変わらない	7 0	7		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる 親水性は現状と変わらない	5 0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域 地域開発の計画がある 予定無し	3 1 0	3		
	計		15			15
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比(B/C)	1.0以上 1.0未満	5 0	5		
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上 2項目 1項目 無し	5 3 1 0	5		
	当初計画との比較					
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加 10%以上30%未満の増加 30%以上の増加	5 3 0	5		
計		15	15			
熟度	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	5 3 1	5		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある 参画している 参画していない	5 3 0			
	事業の進捗状況					
	進捗率	計画より進捗している 概ね進捗(90～100%未満) 計画より遅れている(90%未満)	10 5 3	3		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上 システムでの環境配慮事項が1～2事項 システムでの環境配慮事項がない	5 3 0	5	システム = 秋田県公共事業環境 配慮システム	
計		25	18			
合計			100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		